

市議会
議員

木戸あきらの議員報告

経歴

東羽衣小学校～中央大学法学部卒業、伊藤萬(イトマン)株式会社勤務後、現在は社会福祉法人(介護施設)理事長。

大阪ベイエリア Natech 防災研究イニシアティブ会員

議員歴 高石市議会議員(3期目)

高石市の課題は実にたくさんあります

教育

学力が上がらない



(中学生学力調査結果、47都道府県の中で45位の大阪府。その府内でも低位。)

対策

- ①35人学級(現40人)を議会が要求しているが無視
- ②スマホ4時間以上使用率28.8%(府内最高値)を指摘しているが対策未達

子育て支援

医療費助成が
中学校卒業までのみ

堺市は高校卒業まで対応

介護

経済的に安心できる入居施設が少ない

(入居者の所得に応じて公的補助のある施設が府内最少)

対策

直近の第7期高石市介護事業計画で論及なし、建設計画も0

集会所

地域交流の場所に困る自治会が未だ

全自治会の約1/5



財政

将来負担比率(将来世代への負担)が府内トップ

対策

都市開発にかかる予算は莫大。未だ追加予算が発生するが対策は完成待ち

道路整備

南北ではなく
市民の避難のための

東西を走る道路整備未達

対策

財政的余裕がないため止まっている

健幸施策

予算増加傾向

対策

市長が会長の団体に税金投与する今までの仕組みをやめない限り議会は直接経費チェックはできない

以上、私は、これらの多くは計画による対策が放置され山積してきた課題だと思っていますが、これらの課題とは比較にならないくらい大きな課題が、市民の命の問題、石油コンビナート防災対策の遅延です。市民の皆様が住む西側に石油コンビナートが全面に広がっている都市は大阪湾岸都市の中でも高石市だけです。防災対策と一括りにせず、石油コンビナート防災対策を最大課題として対策を!

↑ 3月議会もこの問題を訴えました。(裏面に続く)

法律では、堺、泉北臨海工業地帯の堤防改修や耐震などの費用はすべて企業が負担することになっています。しかし、大きな経済的負担になる防災費捻出は企業任せでは無理です。

石油コンビナートに働く人々、並びに周辺自治体市民の生命を守る為には、国費を投入して対応するしか本格的な石油コンビナート防災は叶いません。事業者、自治体、そして市民が同じテーブルに寄って実体に則した防災計画を立て、国を動かし国税投入ができるように法改正を迫るしかありません。(ちなみに、国土強じん化制度では、石油精製施設には1,000億円の防災予算が設定されていますが、化学会社、エネルギー会社への支援はありません。)

まずは、市民に実情を情報提供し、同じTAX PAYER(納税者)である企業(事業者)の苦境も共有するところから始めなければなりません。今期4年間、様々な角度から石油コンビナート防災について行政に提言して来ましたが、最後の3月議会まで高石市民を守るんだという気概を感じることはできませんでした。最後まで市民に情報提供しないで、大阪府が作成した防災計画を読み上げるにとどまった高石行政の姿を見て、これ以上頼れないと思いました。



チェンブズ!

3月議会の最後私は、「石油コンビナートのことは石油コンビナートの中に居た方、議員に例えれば、古賀議長か出川議員(共に三井化学出身)のような方でないと分からないと思う。これからの4年は、石油コンビナート、化学工場の現場の知識がある、この地の実体把握ができるリーダーが必要だ」との趣旨を述べて一般質問を終えました。

右も左も、保守も革新もない

「知見と誠実さ」でリーダーを!

以上、私は、高石市の課題の中でも

1 石油コンビナート防災強化

4 集会所の再整備

2 学力向上

5 公共料金見直し

3 介護施設の再整備

に注目しています。

最後まで、お読みいただきありがとうございました。



高石市議会議員

木戸あきら

連絡先 〒592-0003 高石市東羽衣1-5-25 木戸あきら事務所 072-261-7801 (TEL/FAX)

公式サイト

木戸あきら

検索

<http://kidoakira.com/>

YouTube

高石市議会

検索

YouTube で検索して下さい